

脊損者の入浴動作自立に 向けた取り組み

—残存機能を活かした座位姿勢—

北海道労災特別介護施設

介護福祉士 ○ 金澤 孝弘

渋谷 絵里香

川口 直美

阿部 弘美

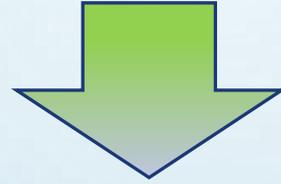
坂 政樹

俵谷 則臣

I はじめに

- 当施設の開設時はじん肺症の入居者を想定した施設環境
- 現状は脊損頸損が9割
障害レベルに応じた生活が出来ない
- 特に介助浴室は脊損者にとって入浴方法が限定される

入浴方法の限定により、入居者・介護者
共に身体的負担が大きかった



介護士業務委員 入浴班



残存機能を活かした入浴ができるよう
入浴動作の支援・環境の改善が必要

Ⅱ 研究目的

- 入居者個々の残存機能を活かした
入浴動作の自立と支援
- 入浴時の車椅子移動動作における、
入居者及び介護者の身体的負担の軽減

Ⅲ 研究方法

経過

- ・ 入浴動作の分析

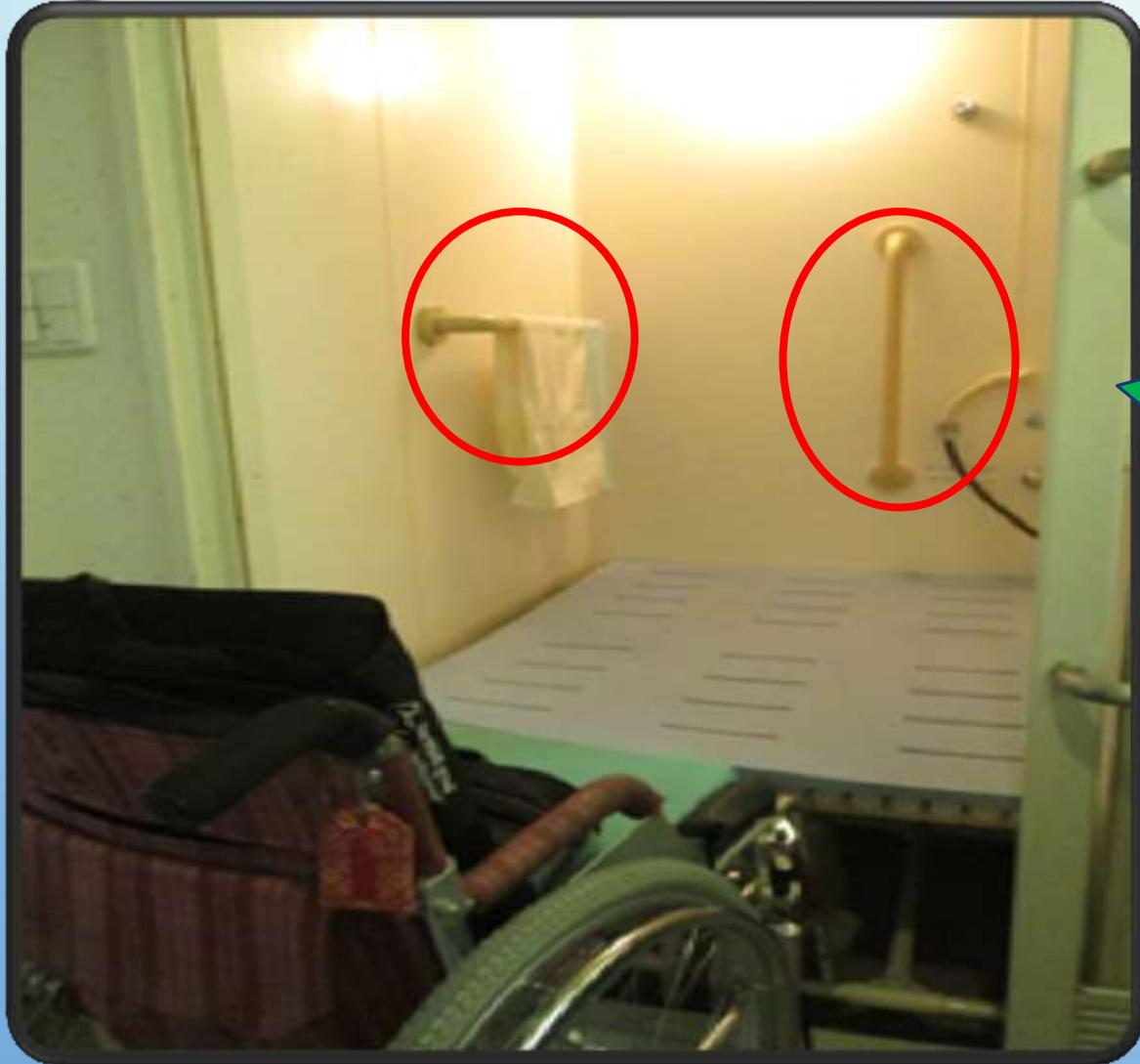
- ・ 他施設見学： 北海道中央労災病院せき損センター

- ・ 入浴座位姿勢の検証

- ・ 入浴台作成と評価

IV 結果

入居者の入浴動作を分析



手すりが少なく、不適切な位置のため、座位バランスの保持が難しい。

背もたれがなく不安定

せき損センターの施設見学 ①

- 移乗が容易である高さの入浴台が設置されている
- 入浴台にはウレタンマットを敷いている
- 壁を背もたれにすることで長座位となって自力で洗身している。



せき損センターの施設見学 ②

- 移乗が容易である高さのプラットフォームが設置されている
- 広いスペース手すりにより自力で着脱可能
- 背もたれ付きで安定性があり長時間 長座位姿勢可能



座位保持に必要なポイントを検証

- ・適切な位置の手すり
- ・安定した背もたれ
- ・入浴動作を考慮したスペース



- ・長座位姿勢を安定できる
- ・体幹バランスが取り易い
- ・転倒防止に繋がる

入浴台を作製

プラットフォーム型入浴台で長座位姿勢を保持



※スペース・背もたれにより

両手が自由に使え洗身動作が拡大

※転倒の危険が減少、安心安全な

入浴ができる。

※短時間での入浴が可能

長座位型チェアーの作製

シャワーチェアーに足台をとりつけ
長座位姿勢を保持



※座位バランスの安定により
洗身範囲が拡大

※ 床への直接移動がシャワー
チェアーへの移動により
身体的負担が軽減

入浴台を使用した4事例

事例1

○氏 63歳 男性 C6.7頸損

＜移乗動作・更衣動作自力にも関わらず機械浴全介助＞

- 入浴方法 機械浴 → 介助浴入浴台
- 洗身動作 全介助 → 座位確保により自力洗身可能
- 移乗動作 全介助 → ほぼ自力で移動可能
- 介護業務量 一連の入浴動作が自立し

介護業務量が減少した

M氏 78歳 男性 T11脊損

事例2

<不安・負担・リスクのある居室浴>

- 入浴方法 居室浴 → 介助浴入浴台
- 洗身動作 座位保持不安定
 - 座位保持され洗身動作がスムーズ
- 移乗動作 段差隙間があり時間を要す
 - 段差隙間が解消されスムーズ
- 介護業務量 変化なし

I氏 83歳 男性 L1 脊損

事例3

＜入浴時移動動作による高低差リスクと負担＞

- 入浴方法 介助浴室床 → 入浴台
- 洗身動作 洗身動作不安定 → 洗身動作拡大
- 移乗動作 床移動 → 平行移動
- 介護業務量 高低差リスク解消により身体的負担軽減

T氏 59歳 男性 C7 頸損

事例4

<入浴時移動動作による高低差リスクと負担>

- 入浴方法 介助浴室床 → 長座位型シャワーチェア
- 洗身動作 座位バランス不安定
→ 座位安定洗身範囲拡大
- 移乗動作床移動 → シャワーチェア(移動用器具使用)
- 介護業務量 移動用器具使用により身体的負担軽減

V 考察

1 長座位の獲得

脊損者のADL拡大には、長座位の獲得が最も重要である

※日常生活を送るうえで獲得実現のためには
上肢の筋力の増強も必要

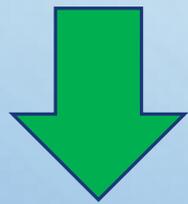
※体圧分散できる長座位では褥瘡のリスクが低い

2 自立への理想の環境

プラットフォーム型の台を活用する

移動動作における高低差

リスクの解消



入居者：身体的負担軽減

介護者：身体的負担軽減・介護業務量の軽減

安全な入浴動作の自立に
繋がる残存機能

- ・腕の曲げ伸ばし
- ・肘のロック動作
- ・プッシュアップが出来る

3 脊損者の自立

環境支援・残存機能の着目は

入浴に限らず自立への可能性

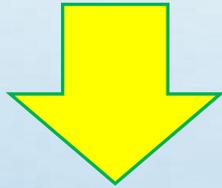


自立による生活意欲の向上とADL拡大

更にはQOL向上に繋がる

VI おわりに

- どんなに小さな行為であっても「自分で出来る」
喜びを実感してもらうことが重要



自己肯定感・自己効力感を高める事ができる

- 「自立」への一步を再認識



ご清聴ありがとうございました。

